

私たち市議会議員は責任を持って

平井竜一さんを推薦します。

坂井かずひこ

森しんいち

佐藤 大介

野党共闘
実現！

田村ひろゆき

後藤ゆう子

納田さおり

かとう涼子

森てるお

藤岡 智明

中村すぐる

保谷 清子

大竹あつ子

推薦団体

立憲民主党、西東京・生活者ネットワーク、日本共産党
無所属市議有志一同、東京都商工政治連盟西東京支部長 松川紀代美
安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める西東京市民連合

西東京市 こんなもん じゃないぞ！

平井竜一が今日も歩く VOL.2

福祉特集号

いくぞ！
もっと、わくわく
するまちへ。
平井竜一、54歳。
今日も市民の声を
聞いています。



Ryuichi Hirai

54歳

平井竜一

発行：西東京市の未来をひらいていく会
代表：藤井一男 〒202-0015 西東京市保谷町 6-25-1-103



いくぞ!
もっとわくわく
するまちへ

徹底した現場主義、「対話」第一の 平井竜一が今日も歩く！

福祉特集号

VOL.2



※次回以降、子育て・教育、環境、防災などを特集する予定

高齢者との対話「最期までいかに生きるか」がKEY



いこいの森公園で出会った80代の女性。（左の写真）
コロナの感染が怖くあまり外に出ずにいたら、足腰が弱ってしまったとのこと。住み慣れた自宅で最期まで暮らしていきたいとお話を伺いました。

全日本年金者組合西東京支部の方々に話を伺いました。（右の写真）

夫婦どちらかが亡くなった時に市内の高齢者施設は待機者が多く、心配とのこと。特養老人ホームなどの施設の拡充を政策に入れてほしいとのことでした。



平井竜一はこう思った！

人間、誰も住み慣れた家で家族に見守られながら最期を迎えたいというのは同じではないでしょうか。自宅で安心して介護が続けられる**介護と医療・看護の連携**は急務です。

一方で、どうしても家族だけでは介護が難しくなる時がきます。地方にある施設ではなく、家族がいつでも会いに行ける市内で**特養老人ホームなどを整備**し、老後の不安をなくしていきます。

そして、介護労働者の負担軽減のためにも**介護のテクノロジー化**は欠かせません。自宅や施設のどちらでも自分らしく自らの人生を全うできるよう、尊厳のある安心できる老後を構築していきます。

「障がいがあっても安心して暮らせるまちへ」

東伏見にある「どろんこ作業所」を訪問

どろんこ作業所は、東伏見にある、手足や言語に障がいを持った、主に脳性麻痺者の方々が立ち上げた共同作業所です。

副理事長の緑野さん、所長の綿谷さんから作業所の取組内容や課題についてお聞きしました。



どろんこ作業所では、日中活動で作成した陶器の食器や、園芸、手作りアクセサリーなどを販売しています。

西東京市には身体障がい者のグループホームがありません。障がい者の日中の活動の場や、親亡き後も安心して住めるグループホームも不十分です。

施設の拡充や誘致、バリアフリーのまちづくりを進めます。

平井は平日のほぼ毎朝、市内の駅で皆様に訴えています！



今後の駅頭宣伝（予定）※朝6:45~8:30まで

- 1月4日（月）田無駅南口
- 1月5日（火）西武柳沢駅北口
- 1月6日（水）東伏見駅北口
- 1月7日（木）ひばりヶ丘駅南口
- 1月8日（金）保谷駅南口

メールにて
お申し込み
下さい

ボランティアを募集しています。 info@hirairyuichi.com

駅頭のお手伝い、チラシ配布など。あなたのお力をお貸しください。